

研究課題名：直腸がん術後排便障害を有するサバイバーにおける食事内容・食習慣の実態把握に関する研究

倫理審査担当：国際医療福祉大学病院倫理審査委員会

承認日：西暦2026年2月18日 承認番号：25-TK-041

研究期間：西暦2026年2月18日～西暦2028年2月28日

1. 研究の対象

2026年2月18日から2028年2月28日までの間に、国際医療福祉大学病院および本研究に参加する各共同研究機関において、直腸がんに対する手術を受け、現在外来通院中で術後排便障害を経験しているサバイバーの方を対象とします。

2. 研究目的・方法

本研究の目的は、直腸がん術後排便障害を有するサバイバーにおける食事内容および食習慣の実態を明らかにすることです。直腸がん術後の排便障害は、便意切迫、頻便、便失禁などにより日常生活や社会生活に大きな影響を及ぼしますが、症状と食事内容・食習慣との関係や、患者自身が行っている工夫については十分に整理されていません。本研究では、患者の経験に基づく食事内容・食習慣の実態を把握することで、今後の患者支援や情報提供、医療者による指導内容の改善に資する知見を得ることを目的とします。研究対象者に対し、Google フォームを用いた無記名・匿名のアンケート調査を実施します。アンケートでは、食事内容や食習慣、排便障害に影響すると感じている食品や食べ方、日常生活における工夫や困りごとなどについて回答を求めます。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究では、以下の情報を用います。

・年齢、性別、直腸がん手術後の経過期間、排便障害の症状に関する回答、食事内容および食習慣、排便障害に影響すると感じている食品や食べ方、日常生活における工夫や困りごと等

※本研究では、血液や組織などの試料は使用しません。

※カルテ番号、氏名、生年月日など、個人を直接特定できる情報は取得しません。

4. 外部への試料・情報の提供

本研究で取得した情報は、共同研究機関と共有する場合がありますが、個人が特定されない形に加工したうえで、パスワード管理された電子媒体等を用いて安全に提供します。対応表は作成せず、特定の関係者以外がアクセスできない状態で管理します。

5. 研究実施体制

研究代表者：国際医療福祉大学病院 消化器外科 准教授 榎本 浩也

参加研究機関の研究責任者：

札幌いしやま病院 外科 秋月 恵美

東京慈恵会医科大学 医学部看護学科教授 佐藤 正美

久留米大学病院 助教 仕垣 隆浩

弘前大学 医学部保健学研究科教授 藤田 あけみ

国家公務員共済組合連合会広島記念病院 消化器外科医長 矢野 雷太

横浜新緑総合病院 外科・消化器外科部長 齊藤 修治

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

本研究に関するお問い合わせ（本研究への協力に同意されない場合を含む）

連絡先：

住所：栃木県那須塩原市井口 537-3

電話：0287-37-2221

担当者の所属・氏名：国際医療福祉大学病院 消化器外科 榎本浩也

研究責任者：国際医療福祉大学病院 消化器外科 榎本浩也

共同研究者：東京慈恵会医科大学 医学部看護学科 佐藤正美

連絡先：東京都調布市国領町 8-3-1

電話：03-3480-1151（内線 2711）